

第40回ゴミパイプライン協議会

会議名	: ゴミパイプライン協議会
開催日時	: 2022年10月22日(土) 10:00~11:30
場所	: 芦屋市環境処理センター会議室
参加者	
利用者の会	: 山口委員長、友田副委員長(司会進行)、春木委員、浅田委員、三浦委員、野村委員、大田委員
芦屋市	: 大上部長、尾川主幹、荒木係長、永宗課員、林課員
共同企業体	: 【TMES株式会社】 横山大阪副支店長、本岡部長
傍聴者	: 0名

利用者の会

皆様、おはようございます。定刻となりましたので、第40回ゴミパイプライン協議会を開催させていただきたいと思っております。本日の司会は利用者の会の友田です。皆さん、よろしくお願いいたします。

本日の議題は、資料としまして4つございますので、お手元、確認してください。議題は、その他を入れて6つございますので、よろしく御教授のほどお願いいたします。早速、議題1パイプライン運転報告について、TMESさんのからよろしくお願いいたします。

TMES

パイプラインの運転報告でございます。

令和4年6月1日から令和4年9月30日まで、まとめさせていただいた部分を発表させていただきます。

まず、システム異常の発報対応ですが、全体で、令和4年度で43件、令和3年で54件、令和2年で58件、ちょっと少ないなという気はします。

次が、利用者からの連絡対応で、期間中、令和4年度は6件、令和3年度は23件、令和2年度は15件なので、こちらも少し少ないのかなと。

巡回及び定期点検で見えられた不具合です。件数は55件になっております。各項目の詳細を説明させていただきますと、まず、システム異常発報対応について、10番、11番、新聞のかみこみ等がありましたので、こちら啓発させていただきまして、現場に掲示させていただいております。

あと、3番の弁異常ですけど、様子見という形で、次回、再発した場合に、また対応する形で、不具合があまり出てないので、これも様子見という形で対応させていただこうかなと考えております。

利用者からの連絡対応です。バケット下の詰まりと鍵の不良が主な原因ですが、バケットにごみを投入する際には、ゆっくり確実にごみ送り出すことを心がけていただいて、住民の方にも御協力をお願いしたいと思っております。

あと、巡回点検とか定期点検で見えした不具合です。1番、鉄アレイの投入がありました。現場に鉄アレイを置きまして、啓発のチラシを作成し、現地に貼らせていただきました。6番の金属くずもそうですね。こちらは啓発チラシもつけさせていただいて、対応させていただきます。

あと、47番はこちらプラスチック類の投入もありまして、あと53番目で、例の鉄アレイが

利用者の会
利用者の会

ありましたので、その他で、燃えないごみなので、投入口の中には入れないようにということで御協力をお願い。こちらも全部、啓発チラシ等は作成させていただいて、現地に貼り出させていただいております。TMESからの発表は以上になります。

今の御説明で、御質問ございますか。

利用者の会の山口です。

2点ございまして、まずシステム異常発報対応で「C」が10件ぐらいあった。非常に多いから、当然定義も変えましたので、その辺の関係もあったと思うのですが、この辺の説明をしていただきたいなど。10件ぐらいある。

2点目の質問は、さっき御説明はいただいたのですが、利用者からの電話で、バケットの下のごみ詰まり。利用者の会でも徹底したいので、もう少し説明を詳しく、どれがどうなって、こうなって、こうだということを説明願います。

ただ、そのまま、私のほうで利用者の会に説明します。この2点です。

TMES

今のシステム異常の「C」ランクになってしまった案件ですが、浜風町の300系統と呼んでいるルートの遮断弁の汚れに起因して、弁体の開閉の異常が集中しました。先ほど御指摘の10箇所。

市

前に写真だけ、状況が分りにくいかかと、載せています。

TMES

原因としまして、穴が空いた部分が多い系統でして、そこから雨が降った後など、水の流入が続くことがあります。

写真を見ていただいていますけど、ごみ混じりの水が、右の写真はちょうど全体を表わしています。ですので、そこに汚れがあった状況で、弁の開閉をしたときに、抵抗が相当大きくなりますので、異常がどうしても出てしまっているということです。

現在、穴あき補修工事で市からも進めていただいていますので、この辺が終わりますと、相当改善していくのではないかなと思っています。

続きまして、お問い合わせのバケット詰まりが御指摘あったのですが、今、写真で御覧のように、バケットの裏側を示して、バケットを閉めたときに、底板にごみが挟まっている状況の写真です。

こうなると閉まりきらないとか、次のごみが落ちにくいとか、いろんな状況になります。これが、この問い合わせになるのですが、ごみが落ちきる前に次のごみを入れようとされて開く動作、それもスピードの速い動作をされますと、うまくこの裏側に、まわりこむというケースが多いように思います。

先ほど横山が御報告したように、少しゆっくり、確実に最後まで押し込んでいただいて、ごみが落ちた後に、もう一度、次のごみを入れる感じでやっていただくと、相当改善はされるのかなとは思っています。

特にその袋が、袋に対してごみが少ない状況、「ふわふわ」したような、「しゃつ」と縮まるような状況ですと、かなりこれは起こりやすい傾向にある。

利用者の会

2番目の話ですけど、恐らくごみそのものの問題、例えば水分が多いとか、量をいっぱいぎりに詰めたという話と、操作が悪いという話と、その後、どんな処理を、利用者はどうしたらいいのやということで、その辺を教えてくださいませんか。今の話は、もう一つ、分ったようで分らなかった。ごみそのものは、こういうふうにしたらいいよと教えてほしいです。例えば、大きいやつを入れるなど。

TMES

重い軽いをどうして下さいというのは、ちょっと難しいと思うのです。現実的に。いろん

な御家庭で出されるごみが混ざりますので。ですから、TMESとしては操作で御協力
 いただけないか、ゆっくり閉めていただいて、確実にごみが落ちてから、次のごみを入れて
 いただく。

利用者の会 ゆっくり閉めるということで、いつもパターンが多いのですよ。音がするので、よく分かる
 のです。ゆっくり閉める人もいます。それから、ごみが。

利用者の会 今の、私も2袋ぐらい持つていくときよくあるのですが、入れて、途中で落ちる音が聞
 こえるのですよ、「シャー」と。落ちる音が聞こえるのです。だから、それを聞いてから、また
 開けて、ぼんと入れる。また、開く。完全に閉めない。閉める手前のところで、落ちる音
 が聞こえるから、それから入れるようにしている。だから、その辺の音を聞いてから。

利用者の会 今の続きで、改善方法ですけど。

一番の原因は、袋にいっぱい入れているからなるわけです。もし袋に入れんと、ばらば
 らで入れたら、絶対ごみの詰まりなし、ばらばらと全部落ちるわけです。

はっきり言って、芦屋として今、袋に入れようとしている。袋を有料にしたら、できる
 だけ多く詰めようとしたら、詰まるのが増えると思うのです。そのためには、袋に入れるとき
 に、できるだけ小さめの袋に入れてやったら、ポチャンとすぐ落ちるから、この問題ないで
 すね。無理やり押し込んだときに、「ガッ」といったら落ちません。それで詰まるときが出て
 くるわけです。

だから、そここのところは、今、芦屋市のごみ袋の問題とは相反するかもしれない、僕は
 物理的に考えとるのですけどね。どうですか、その辺のどこ、TMESさん。

TMES 今、TMESとして、割とぎゅうぎゅうに詰めていると落ちやすい傾向にあると考えている
 のです。先ほどおっしゃったように、途中でも、「ゴロン」と落ちてくれる。ただ、幅いっぱい
 にすると落ちない状況にはなります。おっしゃられたように。

利用者の会 私が言うのは、例えば紙みたいなものを入れて、「ガッ」と押し込んだら、中で「ピュッ」と
 膨らむから、膨らんだときに引っかかると。

TMES その場合は、恐らく、バケットの中から出てくれなくなると思います。

利用者の会 そうそう、そうなる。

TMES そういうケースはあるとは思いますが。ただ、このケースが起こるのは少し軽い状態で起
 りやすいと思います。我々、経験的にも。

利用者の会 そうですよ、軽いから。

TMES 重いと、割と途中でも。

利用者の会 それは落ちるわ。

TMES かつ、落ちる前に引き上げる動作。

利用者の会 私らもちょっと大きくなる時があるけど、それは包装用紙とか、あれなんかそのまま
 入れているから、そのときは「ガッ」としている。それか、大きなやつ、はさみで切って、ペラ
 ペラにしてから入れるとか。

TMES 段ボールなんか別の意味で、落ちてから広がるので、今度、ためるところで少し邪魔
 になるけれども。

利用者の会 段ボールは禁止。

利用者の会 段ボール禁止でしょう。資源やから、あかんとなっている。あかんやけど、入れる人おる
 やろうけど、今。

TMES 時々ある。

利用者の会	そうそう。そやから言おう思たんやけど、このバケツの、住民からの問い合わせについても、開かないとか、たくさん出ているのよ。
TMES	やっぱり、このケースが多い。
利用者の会	そやから、その辺を具体的に、こうなっていたから、例えば、途中で段ボールが詰まっていたとか、そういうのが分ったときには、即、連絡してほしいです。みんなにそれ徹底する。何遍も言わんと駄目やと。
利用者の会	はい、ありがとうございます。
利用者の会	何で、あそこでごみが止まっているのですか。
TMES	閉まった状態で写しているの、挟まると感じる感じですね。
市	バケツの下に貯留槽、筒があるのですよ。その上にレベル計があります。写真では見えないですけど、この下にレベル計があるのです。送信側、受信側、赤外線を通して、その赤外線が遮断される、ごみがそこまで積んで、遮断されたとき、ごみがここに10秒ぐらい堆積したときに開かなくなります。
	何でここまで、レベル計の上までごみが行ってしまうかと言うと、これバケツですけども、ひっかかりがあるのです。ちゃんとロックかかるように。
	先ほど春木さんが言われたとおり、完全に閉めない、ロックはかかるけども、ちゃんとひっかかりまで閉めない、ひっかかりません。だから、さっとみんなやって、結局、ごみがどんどん積み重なって、レベル計の上まで来て、それがバケツの下まで来てしまっている状態。
	ほんまは、ちゃんと入れて、10秒もあつたら必ず、開かなかつたら、レベル計まで来たら。皆さん、ごみ、わざわざ持ってきて、例えば10個持ってきて、全部入れたいと思うのです。全部入れて、入れて。
	それで1個だけ持って帰るとか、そんなことやらないと思いますので、それでレベル計の上まで来てしまっている状態です。
利用者の会	それ、下まで落ちんと、引っかかっているのですか。
市	そうです。だから、ここまでほんまはごみがあつたのです。状況はずっと見てないので分からないですけども、いろんなケースがあると思います。
利用者の会	まだ頭がクリアでないですけども、要するに、利用者にはこうしてくださいというのをメッセージしたいのです。クリアにね。そのときに、今分つたのはゆっくり閉めましよう。
市	ちゃんと、最後まで。
利用者の会	最後まで、これが一つ。
市	最後まで閉めない、ロックがかからなくなってしまう。でも、皆さん、全部入れたいという気持ちがあるので。
利用者の会	野村さんがおっしゃった小さめの袋。小さめの袋であれば、ずっと私は落ちると思うのですけど、それは駄目なのですか。
TMES	基本的には、落ちやすいと思います。ただ、そうですね。
市	結局、レベル計の上まで行くのは、小さい大きい関係ないので。
利用者の会	いや、だから問題がクリアじゃないから、そういう。
TMES	ゆっくり閉めると、小さな袋は有効だと思いますけど。レベル計の上まで来るのは、大きくてもそこへ来てしまうと、あのケースは起こり得ることになります。
市	今、さっき言った断面図だけ書かせてもらっているのですけど。

市	一回の開け閉めで複数お持ちいただいた場合は、一回の開けたときに、ポンポンポンと入れるの。
市	それは大きさにもよると思います。
市	ここに入る分だけ入れて。
利用者の会	入れて、また一回やって。開けて、また入れて。入れてこうやったときに、落ちる音が聞こえると違うん。それを確認して、私らは捨てる。
芦屋市(荒木)	その確認するのも、最後まで閉めていただかないと、赤になってこのロックが働く前に。
利用者の会	それとは別ね。別にそれ、いっぱいときやないのや。赤ランプつく、そんな関係やなく、普通のときに。こう入れて、2個持っていったときも入れて、落ちたことを確認するわけ、最後まで閉めない。
市	それは、少ないときは全然構わないのです。そうやって最後まで閉めていたら、いわゆる積み重なって行って、最後まで閉めなかったら、ほんまやったらここで開かへんはずが、開いちゃうのです。落ちないで。
利用者の会	それを言うのやったら、そこのレベル計、それで満杯言うたら、どの辺りになるの。
市	そこに、ALVと書いているでしょう。
利用者の会	ALV、そこのとこ。そこから上のとこまで、どれぐらいの距離やろう。
市	それ、場所にもよりますね。
利用者の会	いや、場所、大体で。どれぐらいの距離やろう。割と長い。
利用者の会	2メートルぐらいでしょう。
利用者の会	レベル計が30センチぐらい下まで。
利用者の会	満杯信号が出るところから、投入の。
市	それ、大体、ほんまに30センチぐらいです。
利用者の会	30センチしかないの。
市	大体ね。
利用者の会	その辺の理論的な構造から注意を言ってほしいわ。そやないと、私らで理解できんことも。それから、30センチしかない。そやから、そこまできてるときに一個投入したら、もうレベルの間近やったら、それで20センチか30センチぐらいの大きさあったら、ここから投入口の近くに来るといことなので。
利用者の会	これ、こんな状態ですか、ロックのとこ。
市	そうですよ。これ、みんなに。
利用者の会	これ、こうこうと閉めるやん。それで閉まった状態？
市	これ開けた状態です。
利用者の会	これ、ここに入れるの
市	閉めた状態です。
利用者の会	今度、閉める。この閉めた状態で、ここまでの距離はどのくらいあるの。
市	絵の角度が、ちょっと、あれですけど。
利用者の会	どのくらいあるの。これより下の細いところ。ここまでの距離はどれくらいあるの。
利用者の会	閉めた状態になっている。ここからここまでのどのくらいあるの、30センチ。ほな、ごみの袋の大きさは30センチ以内で。
市	そうです。
市	そこに書いているのは、バケットのサイズ。

利用者の会

例えば、この辺のぎりぎりまで貯まっていたときに、今度、30センチのそれを入れたときに、こういうことになるね。

市

最後まで押さずに。

利用者の会

いやいや、それ別にして。普通るときでも、この直前に来ているときや、かぶるとしたら。

市

ぎりぎりでしょうね。

利用者の会

ほんなら、ここにぼんと押し込んだら、あれぎりぎりになるで。ほんまに？それ。

市

現物を見たほうが早いと思うので。

利用者の会

図面見たら。

TMES

割と圧密されて、差があるので、入れられて。

利用者の会

いやいや、圧密というか、普通に入れたときには圧密なんか関係ない。上へ繋がって、どんどん行ったたら、圧密で、ここの中でより多く貯まる。

市

そうです。

利用者の会

投入した直後。

芦屋市

縮まるの。

利用者の会

そうそう。ほな、30センチの大きさがある袋。

市

結局、住民さんが、どうすればこういうのが少なくなるかというところが今主眼になっていきますので、それで、基本的には、一番あかんパターンが、例えばここがレベル計になっていて、この辺まで来ていますよと。例えば投入します。ほんまやったら、この一歩で、ここのレベル部分で赤ランプになるはずなのに、例えばそこをぼんとやったら、ある意味、閉めきらなかったら開いちゃうのです。もう1回、2個、3個入れました。こうやったら、もうレベル遙かに越えて、今度はここの稼働部にひっかかってしまう、それが一つの故障。だから、基本的にはゆっくり入れて、その代り、ゆっくり入れて戻すということは、3つ持っていたのに、1個しか投入できませんでしたという残念なことがあります。

それは申しわけないんですけど、そういう形になっちゃう。だから、それを、基本的にはゆっくり入れて、開かなくなったら、もう2つ分終わっちゃったとなるのは申しわけないけど、そうになってしまうという話。それをがちゃんとしていて、やったら、3個捨てられるけども、ここに残った状態やから、ここがひっかかったような状態になってしまって、それで詰まりが起きる場合がある。だから、今、TMESさんが言ったのは、ゆっくりと閉めて、開けて、閉めて、開けて、入れてくださいと。

もう一つは、逆にここに入って、全然レベルも下やねんけども、このごみ自身がそこにひっかかってしまうこともあります。それはどうしても、さっき言ったみたいに詰め込み過ぎて、膨らんでしまって、落ちなかったとか、いろんな事象があります。だから、おしなべて、住民さんが何をしたらいいのかと言うのやったら、基本的にはゆっくり、そんなに無理やり詰め込んだ状態ではないごみを、ゆっくり入れて、ゆっくり開けてください。そこが一番大事なことかなと思っています。

利用者の会

ゆっくりとか言うけども、住民、そんなこと言うたって、分らへんわけですから。それより、今、ロックをかける状態を見たら、あの位置をどっかに変えることによって、いってもたらロックかかってしまう。もっと早くロックがかかるとこの位置にして、がたつきが出るから、それについては、がたついた分はバネかなんかで後ろに送るようにしたらどうですかね。一応、位置変更をするわけです。今のロックの鍵の部分か、反対側かどっか。恐らく3ミ

りから5ミリぐらいかな、10ミリまでですわ。10ミリもいったら大きすぎるな。

それで、ちゃんとやったときに、カチッとこないのであれば、ちゃっちゃとやったら、かかってしまうのは、そういうことが機械的に調整できるのか。そうしたら、ゆっくり入れとか、そんなの関係ないですからね。メカ的に考えたら、そことこの鍵を見ていたら、そういう感じに見えるんですけど。位置変更できるのと違うかな。

市 今のロックの回しを。

利用者の会 要するに赤ランプついたら、元に戻るって、カチッとくる手前で、もう赤ランプにしてしまうということでしょう。

利用者の会 そうです。

利用者の会 最後まできちんと来て、それでロックがかかるというのを。

利用者の会 もう少し手前で、赤ランプになる。早くロックがかかってしまわないように、鍵のロックのとの位置関係をちょっと変えるの、ですよ。

利用者の会 ただ、それは一つのやり方ですけど、入れて、戻してきて、赤ランプになっているときに手前で止めて、また入れて、こうするような裏技を知っている人はどれだけいるのと言いたいのです。普通だったら、こうやったら、かちんとここまで戻してして、こうやるでしょう。赤でやったら、その手前で止めとったら、またもう1回入れるとか、そんなこと知っている人って何人いるの。

芦屋市 多分、本人さんは、そんなつもりもなくて、あの閾値を越えるつもりもなくて、ただ単に、ごみを早く入れたいという操作をされているだけだと思うのですね。

利用者の会 でも、普通だったら、元へ戻るまでやと思うけどね。だから、そのレベル計よりも上に来て、赤ランプの手前で止めて入れるのは、非常にレアケースだと思うのですよ。

市 それは、多分故意ではないと思うのです。

利用者の会 故意じゃなくて、偶然そうなったという人が何人おるかということです。世の中、これだけのところに、そんな人はそんなたくさんいますか。いっぱい出ているけどね。たまたま、月に一人がおるかどうかしらんけども、しかもレベル計がこうなっているとき、偶然そこでやるとか、非常にレアケースだと思います。

だから、こんなレアケースのやつをがんがんやったらしょうがないので、もっと反発性のあるようなやつとか、そういったやつをぎっしり入れて、こうやる。これが一番よくないと思います。

市 そうですね。膨らむやつが一番あかんのかなと思います。

利用者の会 あの箱の中に、ぎっしり詰め込みすぎた物を入れたら駄目よと。しかも、軽いほうが逆に問題よというところでしょう。そのあたりを上手に説明しなきゃいけない。

利用者の会 それが、毎回これ出ているやん。利用者からの問い合わせなんかでも、バケツが物すごく多い。ごみ詰まりになっているやん。それが、今出ていたそのあれやと思うのや。下まで落ちてへん、入れたけど、膨らんで下まで落ちひん。そんな状態でどんどん入れていいたら、上へ貯まってきて、最後にこれになるのや。その段階でも、まだ満杯信号が出てへん。

市 それは、どこにかかるかによりますね。

利用者の会 もちろん。

利用者の会 要するに、入れて、音が聞こえるから、確実に落ちたことを確認してから、次のやつ入れて。

市
利用者の会
音と同時に、距離も感覚的に分かると思うので。
いつも音がしますわ、私とこは。ほかのとこどうか知らんけど。こう入れて、こうやって落ちたら、ずっと音がするで。落ちたと思って、それやるわけです。

市
利用者の会
住民さんに一番気をつけてもらうのは、無理やり、30センチ入るような、膨らむ物を入れない。あとは、ゆっくり開閉します。

市
利用者の会
大きな袋で無理やり入れるなというのがあるわけですね。

市
利用者の会
プラのおもちゃじゃないけど。

市
利用者の会
逆に、今度、指定袋のときに、これにぎりぎり入れてやっても、落ちるようなサイズを考えなきゃいけないですね。

市
利用者の会
そうですね。

市
利用者の会
小さい袋にして。

市
利用者の会
小さ目にせんとあかんと思う。

市
利用者の会
小さい目にして、そのことを考えんと、大き目にして、いっぱい入れたら、もう絶対引っかかるで。

市
利用者の会
前より小さめにする言うたら、反対する住民がおりまして。

市
利用者の会
いるのですね、お金かかるという人が。

市
利用者の会
時間もあれなのでまとめますと、無理にぎっちり詰め込まないということが、一つ。それから、さっきのやつですね。ごみが複数あるという条件です。1個だけやったら、それでいいです。別にそんな開かなくても。だから、複数ごみを持っている人が、最後までゆっくりと閉めて、音を確認して、次に行く。この2つですね。では、この2つを説明会のときに。

市
利用者の会
要するに、きちんと戻して、そして次のごみへ行きましょう。

市
利用者の会
できたら、音を聞いてから。

市
利用者の会
音を聞くというのは、非常にそれに詳しい人でないと、どの音か分からないから。きっちり戻してから、次のやつを入れましょう。

市
利用者の会
そうですね。では、その2つですね。

市
利用者の会
言いたかったのは、TMESさんに聞いたかったのは、住民のあれで「ごみ取り」、「ごみ除去」と書いていますね。

市
利用者の会
はい。

市
利用者の会
こんなときには、どんなごみやったか、特異なん言うてなかったから、例えば段ボールや、そんな袋に入れてなかったかって。その辺も確認しとってください。ぎゅうぎゅう詰めて、そうなったのかも分らんけど。

市
利用者の会
大田さん、どうぞ。

市
利用者の会
素人なのでメカのことはよく分かりませんが、満杯センサーの位置をちょっと下げることによって、上のバケットのところまで、満杯になる前に赤ランプがつくというようなことは考えられないかどうか。

市
利用者の会
その変更は、構造的には可能だけれども。

市
利用者の会
ただ、キャパが少なくなるので、すぐ赤ランプになる。せっかくこの容量を持っているのに、下げることによって、キャパが下がってしまいます。

市
利用者の会
下げ幅は問題ですが、あんまり下げすぎたら、まだ余裕があるにもかかわらず。ほんとに満杯になる、バケットの下にかむような状態になるまでにセンサーが働いて、赤ランプがつく。

市 基本的には投入口に投入できる大きさを踏まえて、このレベル計がありますので、普通に入る物であれば、満杯センサーもぎりぎりのところであって、次、入っても働くようにはなっています。

利用者の会 大田さんそこ、小容量型やから。
利用者の会 そうそう。小さいからね、容量が。
利用者の会 赤ランプになっても、無理やり入れようとしている、偶然そうだった。それで問題になっているので、レベル計の位置を変えるのはあまり有効じゃないと思います。それと、レベル計の位置を変えるのに、工事がちょっと危険を伴う。火災を伴う、そのリスクがあるので、やらない方がいいと思います。

利用者の会 あまりにも頻度が高かったね。
市 頻度が低いとは言わないですけど、4か月、6月から9月末で4回、つまり2か月に1回ペースでという形なので。少ないとは言わないですけども、そういう形です。

利用者の会 少ないということは、例えばシステム異常で10番、11番、「投入口下部シュートにごみ詰まり」。これ新聞紙の束のかみ込み。こういうものを、その下の詰まりの原因になる。
これも陽光町でしょう。陽光町は29、30、2日続けてちがうの？29日に取ったと思ったら、次の日にまた詰まって、見たら、また新聞や。これ、何かアクションをかけた？

TMES 一応、掲示。
市 皆さんに送っていますよ。
利用者の会 2回やった？これで詰まりました。こんなんやっています。次の日、また詰まり。再度、詰まりました。

市 2回目にやっとなくなりました。初日でいって、市営住宅なので、市営のうちの担当に言うて、前回のやつで、現物掲示もやらせてもらったら、きれいに中身だけなくなっていました。

利用者の会 次の日もまた入ったから、それは。
市 連日やったので、次の日に貼って、上の階も全部、掲示板も剥がされていたみたいです。

利用者の会 それ、2日続けてと書いていた。
市 運転日報に書いている。
利用者の会 この掲示板に。2日続けて新聞紙が投入されて、大変な作業をしました。
市 大変でしたね。
利用者の会 それを書いとく。ちょっと下に下げる。書いてある上の文章を。書いてへんやん。そやから、そういうことを入れてほしい。2日続けて同じような原因で詰まって、作業員が2日続けて中に入って、新聞を取りました。

芦屋市 僕も行きました。
利用者の会 そういうことも訴えてほしいのです。ただ単に、御協力をお願いしますやなしに。こんなときやなしに、起こったところへ、市営へ、ちゃんと。

市 めっちゃ言いました。
利用者の会 アピールしてほしい、ここに書いて。
市 全部剥がされて、きれいにクリアボックスだけ。
利用者の会 ここに書いて、全部貼るのやったら、全部貼って。

利用者の会 市	剥がされてというのは、この画面を、貼ったやつを剥がしよったわけ。 そうです。チラシはなくなっていました。先ほど、プラスチックのごみとかも含め、最近掲示物に関しては、中身だけきれいに抜き取り、本人かどうか分からないですけども。
市	前は、それは引き取ったのか、もう1回投入したのかは分からないですけども、すぐなくなっちゃいました。
利用者の会 市	これはプラスチックケース、投入口の横に置いて。 ありますよ。
利用者の会 市	掲示やって。 ケースにも投入口にも貼っています。皆さんにも送っています。
利用者の会 市	掲示物は剥がしているけども、中身は置きっぱなしになっている。 中身はなくなっているのです。
市	中身だけなくなっています。
利用者の会 市	さっき、全戸配布と言うたやん。全戸配布してないのか、そのの。 皆さんに周知することはやっています。
利用者の会 市	いやいや、市営のほう。 市営のほうは住宅管理センター、そっちに、欲しい枚数を言われたので、それを全部渡して。
利用者の会 市	それは、住民の数だけではない。 掲示板とかですね。
利用者の会 市	掲示板に貼っている分。 結局は住民ですよ。自治体の代表がそこで。あそこは外人も多いのですよね。ベトナム人とか。ベトナム語で掲示を。
市	大学から勉強しないといけないかもしれない。
利用者の会	それもそういうとこで。それとまた、それ以外にもあったん。石・金属物とか、割と住民起因のやつがあります。直そうと思ったら、毎回毎回、その都度その都度、何度もなく言うべきだと思いますので、TMESさん、大変やと思いますけど、よろしく願いますわ。巡回、点検も細かくやっていただいて、ありがたいと思います。
利用者の会	最初に戻りたいんですけど、システム異常発報で数えたら43分の13と非常に多い。 その中でも、全体に汚れ付着が多い。
TMES	それが、今のうちの写真にあるように、水まじりのごみが通過しておりますので、開閉に伴って、この弁につくわけですね。
利用者の会	これは輸送管ですよ。
TMES	これは輸送管の中から弁を写しています。今、上がちょっとだけ開いた状態で、完全に閉まると、あの銀色のステンレスの板が。
利用者の会	弁は遮断弁の部分。
TMES	遮断弁です。300系統の遮断弁。
利用者の会	あの遮断弁が、水がたまって、どうなるのですか。
TMES	汚れがつく。
利用者の会	汚れがついて、どうなるのですか。
TMES	開閉をするときに、機械の内部ですごい抵抗になるのです。結局、開かない、閉まらないという異常として。

TMES 弁体自身が動くので、その周りにごみがついたら動きに支障が出て。
TMES かみ込むようなイメージですね。
利用者の会 僕は何を考えているかと言うと、利用者に関係あるか、関係ないかに興味があるわけですね。

TMES はい。
利用者の会 これは、利用者に全く関係ない話、機械的な話を。水がたまって、弁がなかなか動きづらくなっている。それを直すのに、修理で時間がかかっているという話ですかね。

TMES そうですね。Cは回数が、一応2回以上同じことが起こったという編集方法にしていますので、Cにさせていただきました。

利用者の会 先ほどおっしゃられたとおり、輸送管の穴あきを早く直したら、なくなりますよと。
TMES 改善見込みが。
利用者の会 水が入ってこなくなったら、ごみが付着することも少ないだろうから。
TMES 水がなければ、相当改善できるのですね。
利用者の会 場所で言うたら、場所見たら分るように、全体に汚れ付着というのは、ほとんど浜風町さん。さりとて言うて、僕も浜風町で、投入口番号、これ300。
TMES 300系統。
利用者の会 300。これは、全てと言っていくらい故障が出ています。
TMES 今のところ、です。
利用者の会 全体の汚れ言うたら300、これだけ。
TMES 一部、400系統も少し出ているところもあるかと。
利用者の会 高浜町ね。高浜町の400はあるけど、1件かな。
TMES はい。
利用者の会 300のということは、穴で水漏れ、水が入っていたから、ここで引き続いてずっと起こってきたんやと。これの修理が終わったから、修理が終わったのかな。
TMES まだ途中で。
利用者の会 まだ途中。これが終わったら、漏れることなくなるやろいう考えですか。
利用者の会 TMESさん、いいでしょうか。そこのとこ、それだけなのやったら、例えば清掃するごとにグリースベタベタに塗ってしまって、やったらどうですか。

市 ごみついちゃいますね、出入り。
利用者の会 逆にごみがついても、グリースやったらぐちゃぐちゃが。水で、結局抵抗になるけど、先につけていたら、ごみになっても、ごみがかんでも、グリースが邪魔してひつつからないですかね。だから、どうなんかなと思って。ましにならへんかなと思って。

TMES 多分、流れてしまうと思うのですね。
利用者の会 いや、どうなっているのですか、その間。スライスの間やって。
TMES この全体の厚みの両サイドには芯材があって、空気が漏れないようになっているので。
利用者の会 ゴムの芯材ですか。
TMES それが抵抗になる。それから、外側には弁箱があって、この中で弁が動いているので、この中にも水がどンドン、ごみの中に。やっぱり、その程度による。
利用者の会 グリースは効果あると思います。シール材のグリースってありますからね。
TMES 水が来られると、そこも流れてしまう。

利用者の会
利用者の会

結構硬いグリースがあるのです。固めのものを塗って。
水中で使うやつもあるので、ごみが流れてくる、こちらは塗ったら駄目だけど、反対側は塗ったらいいかも。いろいろなことを考えるとええと思うけど、来るほうにやったら最悪ですよ。来るほうじゃなしに、反対側のほうにかむ部分です。

市
利用者の会

ネジ周りね。
私の理解では、大雨が降ったときに、パイプラインに水が入って、貯まる。皆さんとこ以外は、今年は止まらなかったです。だけど、内部はこうなっていて、遮断弁に問題があるよ。ただ、表向き止まることはないけども、実は内部でこういう、ちょっとずつ水が入って、遮断弁が閉まりにくくなっている問題が起こっていますという理解でよろしいですか。

利用者の会
市
利用者の会
利用者の会
利用者の会
利用者の会

工事いつ頃終わるのですか。
また後で、違う議題にあります。
いや、ぱつと言ってもらったら。
来年、1月まで。
来年の1月まで。
他にございませんか。なければ、議題の2番、利用者の会発行の年次報告、2021年、資料2に関しまして、利用者の会から御説明お願いします。

利用者の会

お配りしていただいた、これが年次報告書です。
今年目標にもあるように、正確な情報を住民の方にも知っていただきたいし、我々と同じレベルで理解をしていただきたい。正しい情報をきちっと把握して、後でいろんなことを考えたいと思っていますので、その一環として全戸配布、一応8,000部印刷しました。来週の木曜日に利用者の会がありますので、そこで配る。その後、まだ配られてない方は、みんなで手分けしてやろうと言って、今日の昼から袋詰めをやるのですが。

最初は、2年前も出したのですが、芦屋市のいろんなデータを入れて作成したのですが、うちの家族に一応できたのを見せたら、そんなデータは誰も興味がないと一周されました。確かにそうだということで、一番伝えたいメッセージは、1ページを開けていただくと、要するに輸送管は傷んでいますよ。この現状を利用者の皆さん、よく知ってください。それに伴って、気づかないでいろんな物を入れて、輸送管を自らで傷つけるようなことはしないでくださいということが一番のメッセージです。

ということで、1ページにそういうことを書いて、無自覚にマナー違反のごみ、木材、レンガ、石などを投棄しないことを最初に持ってきました。

では、何を投入していいのか、悪いのか、2ページに入れていい物といかん物は、ここに分けて書いています。

僕は思うけど、最終的には、生ごみ以外は、パイプラインは入れたらいいのかなという気も今はしています。

3ページ、4ページは、マナー違反で、どの地域に、どんな物を入れているのか、3年間、林さんに作っていただいたものに絵を入れて、火事になった絵とか鉄アレイの絵をちよつとずつ入れて、どの地域で、どんな物が捨てられているか利用者の方が分かるように、みんなで、こんな物を入れているのやと理解するために、地域別に投棄物をまとめました。

輸送管の状態は4ページに写真入りで、口でこう言っても、やっぱり写真は非常にメッセージ性がありますので、写真入りにしています。

次のページに、実は輸送管は、それだけのトラブルでは実はないよと。細かいトラブルが毎日起こって、皆さん、これをきちっと、今、TMESさんを初め管理していますということをお願いするために、発生が332件も起きていますということです。

6ページには、そのままほっておくのかということでは、決してありません。きちっと計画を立てて、3つの方法で補修をしています。具体例には絵をつけて、水中ボンドと耐摩耗綱による詰まり補修と輸送管交換をきちっとやっております。

その次からデータを入れまして、パイプラインの費用で、大体年間どのくらいかかっているのかの詳細を含めて、書いています。

8ページには、私たちが出しているごみがどのように処理されているのか。焼却処理、また資源化することで、どんなふうになっているのかをここに書いております。

最後、今後どうなるのかということで、9ページと10ページに、今後の問題を書いていて、今後、パイプラインがなくなるまでどのようなことをやっていくのが9ページ。10ページは、それにかわるものを、どういうふうにして今動いているのかを、十何年計画で、5つのケースがあるんですけども、今やっていますよ。

まず、これを住民の皆さんには理解していただく。意見はいろいろあると思うのです。だけど、まず理解をしていただいて、それをベースに、今後いろんな話をしていこうということで、2年毎にこういうのを作って、皆さんに配布しています。以上です。

これに関して、芦屋市及びTMESさんから何か御質問はございますか。

すばらしいものを作っていただいて、本当にありがとうございます。

写真が多いから、これを配られたら、中を皆さんに見てもらって、特に4ページの穴あきとか見てもらったら、何でこんななるんやろうなというところから、ほかのページも見てもらって、啓発に繋がるのかなと思っていますので、本当にありがたいやつやと思っています。ありがとうございます。昨日かな、おとついか、大永さんところで1,000部いただいて、市民課に渡しています。

来週渡します。

市民課に渡されたこの資料は、新しく入居される方に、一応お渡ししていただけるということで、よろしく願いいたします。

一点だけ、尾川さんをお願いしたいやけど。こういうやつね。

藪田から来られる。

一人一日当たりのごみ排出量、令和2年度が出ているので、芦屋市なら全体で943グラム。家庭系やったら、550グラムとか出ている。

一方、環境省のホームページの中に、全国の一人一日当たりのごみ排出量が出ているんですよ。兵庫県で検索したら、41市と町のデータが出てくるのです。それを見たら、芦屋市は後ろから4番目。一番多いのが新温泉町、その次、猪名川町、淡路市。その次が芦屋市で、一番多い。それで見たら、一人一日703グラム。何でと思っただけで見たら、生活系と集団回収とを合計したやつとで、一人一日何ぼと書いている。

国はそうやって全国の各市町のデータを出していますが、ところが、芦屋市はそういうような数値が一個も出てこない。時々こういうふうになるのですよね。国は生活系と集団回収を合わせて、一人一日何ぼと全部データがそろっている。芦屋市だけは、ちょっ

利用者の会
市

市
利用者の会

利用者の会
市

利用者の会

と違うような。

市 芦屋市としては焼却炉に入ってくるごみ、ここの環境処理センターに入ってくるゴミが一番、主眼となっているのです。それによって、能力とか運転の仕方も変わってきます。

だから、その集団回収は、もちろん一番いい制度というか、逆にうちが報奨金を渡す形で、別ルートで処理していただけるので、ここを介さずにできるので、基本的にはここに入ってくるごみという形でうちは考えてやっています。

利用者の会 それを言うたら、芦屋市は、家庭系ごみと集団回収量については、目標非達成。それも、大きく未達成。その辺を、今後ちよつと。

市 そうですね。いろんな策を練りながら、その一つが、これからの指定袋という形にもなっています。今までそういう手法をとってなかったので、指定袋とかで、要するに、今まで不燃とかで燃えるごみに混じていたものを排除していく。

利用者の会 41の中で、後ろから4番目って恥ずかしいから。

市 それは、議会でも重々言われています。

利用者の会 ぜひ、上位に行ってほしいなと思う。

利用者の会 次の議題3、輸送管の補修工事の報告に関して、資料3、芦屋市から御説明をよろしくお願いいたします。

市 それでは資料、ナンバーが抜けているのですが、ここの説明させてもらうのは、輸送管補修状況の計画の表と、あと写真入りの物が3枚出てきたやつです。

まず、輸送管補修状況の計画をお出しください。その3枚目をお出しただければと思います。地図が載っているものになります。

現状の工事の状況ですが、まず浜風小学校内で補修工事を、この夏休みに行っていました。そのうち、一部の輸送管の取替工事は終わっております。

あと、内貼補修についての状況ですが、浜風町とか若葉町とか潮見町及び高浜町について、内貼材被害の補修工事について終了しております。内貼材について、工事が1月末まで実施となっており、現状のところでは工程どおりに進んでおります。

その中で、カメラ調査の中で、内貼補修をしなければならない箇所が2箇所ぐらい追加となりました。この中で、説明資料については2枚目、追加箇所16、17共に、こちらの資料をお出しただければと思います。

追加となった背景ですが、輸送管の断面の写真になります。この中で、内貼補修としては、基本的には、下面に穴あきがあった場合に、穴あき箇所を覆うように内貼補修材を置きまして、その上に押え板で押さえるという補修方法になっております。

その中で、こちらの追加2箇所につきましては、内貼材のみがこのように配管下面についており、上の押さえる押え板がどちらもなくなっている状況です。

これで何が起こるかと言いますと、ごみが輸送されてきたときに、前回か前々回のときに説明がありました、ごみが内張材の下にかみ込んでいって、それが浮き上がって、内張材が浮き上がってきて、詰まりの原因になってきますので、こちらについては緊急性が高いというところで、追加としております。

続いて、輸送管の取りかえ工事について、一部を残して終わりましたという中で、まず輸送管の取りかえ状況の写真について、説明させていただきます。

3枚目、グランド内北東部分と書かれた資料を御覧ください。

まずは、こちらの輸送管を取りかえていたときに、地面を掘削した状況を示してござい

して、どちらもパイプラインの配管本体を出しております。通常のとおり交換を実施しております。

最後、何で輸送管工事が終わらなかったかについての説明になります。

夏休み中に工事を進めていた中で、こちら浜風小のグラウンドの地図を表わして、浜風小学校のグラウンドの北東部分ですが、中央緑道に接しております。その中で、中央緑道側から、夏休み期間、最初から、徐々に左上から順番に配管を交換していった中で、夏休みの8月中旬ぐらいから下旬ぐらいに、配管を撤去した際に、右上に撤去配管の様子の写真に書かせていただいているのですが、想定よりもペラペラの薄い感じの撤去した配管が出てきて、この状態ですと既設管に溶接する、もともと接続された既設管に溶接するのが厳しいのではないかとということで、詳細調査を実施する必要性が出てきました。

その関係で、夏休み下旬ぐらいに、この辺は確認されたため、夏休み中に工事を完成することができなかったところになります。

残っているのが砂場の真下ら辺になりますので、長期休み以外で、走り幅跳びですとか、体育の授業で思い切り使うので、冬休み工事としております。

配管工事の状況については、以上となります。

利用者の会

今の御説明で、御質問ございますか。いかがでしょうか。ないようであれば、次の議題に移らせていただきたいと思っております。

利用者の会

浜風小学校の撤去配管の様子は、かなりひどい状態。この状態でどういう現象が起こったか、ちょっと教えていただきたい。

市

どういう現象。配管を、今回更新していくので、配管を撤去します。既設の配管を撤去するのですが、既設の配管を撤去した際の写真が右上の写真になっていて、肉厚が1ミリぐらいの薄さのものになっておりました。

利用者の会

聞きたいのは、そういう状態で、まともにごみが処理されていたのか。

市

何でそんな状態で輸送できていたかについては、推察にはなってくるのですが、曲がりの部分とかは過去、内貼補修ですとか行って、その厚みを増したり、ここの薄い配管が出てきたところら辺については、周り土枠で固められていたようなイメージがありますので、土枠でもっていたようなところはあります。

利用者の会

何とか運用できったのですか。

市

そういうことです。

市

ただ、皆さんが一番御存じと思うのですが、雨とかで一番止まっていたのは、この地域。ここからラヴェールで、打出浜小学校です。ここが一番止まっているルートになっています。

だから、見えないピンホールであるとか、これだけ薄々になってますんで、どうしてもほかの地域よりも水が入ってきていて、なかなか引かない状況は状況やっと思えます。

今回、こういう形でルート全部やらせてもらって、あと、ちょっとだけ冬休みに残っていませんけども、かなり止まる率は改善されるのではないかなと思っています。

あともう一点、浜風小学校の校舎の下に通っていて、そこはできひんということで、校舎をかすわけにいかないの、別ルートとかも考えたり、投入口の位置を変えたりと考えたんですけど、投入口は給食室の側でないとなかなか厳しいのもあって、浜風小学校には申しわけなかったんですけど、もう止めますよと。

今回、モルタル工事という形で、門扉の前、さっき門扉の前を出したのですが、そこからの分岐も浜風小学校はなしという形で、モルタル埋めて。そこで、穴が開いて圧がにげていったり、水が入ってきていたこともあったので、このルートが、この工事が今年度終われば、大分改善されるのではないかなと思っています。

ここは、なかなか前の担当者、時代から、雨水管が出てきて、工事ができなかつたり、入札が流れて、流れて繰越しになったり、一番呪われたような区域になってますんで、今、永宗がやっているやつが、この冬休みに、工期としては1月末かな。

市
市
利用者の会
市

そうです。

1月末終われば、大分、三浦さんも安心してできる。

この状態が、ほかのところにも発生しているのと違うかなと考えると。

そうですね。その可能性あるけれども、ここはいろいろ特殊な事情があるみたいですね。どうしても、こうやって薄くなっている状態は状態ですね。

利用者の会

尾川さん、薄くなっているのは、やっぱりラヴェールのとこのあのラインは、頻度が多かったということですか、それともごみの量が。

市

いや、そこは推察だけになるので。

利用者の会

推測の域を脱しないのかもしれないけど、それを参考に、メインの配管がどのぐらいもっているのやと。基本的には、端のほうが減っている予測ですわ。そのメインで通ってくる、例えばラヴェールのところから出てくるとことか、高浜のとこの橋を渡るあの辺とか。あの辺のメインは、ごみがいつもそこへ集まって通っていくわけですから、多いと思う。その辺のとはどうですか。具体的にここは多かったのか、それとも使い方が悪かったかとか、どっちやろう。

市

どっちか言うと、多いと言うよりは、推察ですよ。流れている物かなという気はしています。

利用者の会

物ね。この状態では、もうどうしようもないわな。

市

さっき、永宗が言ったみたいに、土圧だけで、埋まっているものなので、土地の中に。土圧はあるので、耐えていたのかなというところですよ。

利用者の会

かなりロスというか。

市

引っ張っても圧力が逃げてしまいますので、どうしてもちょっと重い物を、普通やったら、きゅっと来るような物が止まっていたり、そのようなことがあったのではないかなと思うのです。

利用者の会

これ見たら10年はもたんなど。全体にこれやったら、あっちやって、こっちやってとやっていたら、となりますからね。

市

頑張りたいと思っています。

利用者の会

平成27年ぐらいやったかな。

市

潮見小学校の前とか。

利用者の会

あのときに、山口さんやったかな、忘れたけど、今、輸送管を換えているから見と言われて、見たのです。ほんなら、たしか高層の導入口の出た当たりの輸送管換えていた。

市

高浜町。

利用者の会

そのとき、びっくりした。もう「ボコボコ」やったんや。手で触っても、穴あいたりして。

市

下水処理場で見たときですか。

市

いや、違います。

利用者の会
市 下水処理なんか。
高浜のところですよ。最後手掘りして、輸送管の上に足を置いたら、「ガバツ」といって
しまった。

利用者の会
市 「ボコボコ」やったわ、びっくりしました。
僕もびっくりしました。

利用者の会
市 あのと誰か言うてたわ、低いから海水が入り込んだやっつ。
それは推測です。

市
市 今回もこれでさせていただいているんですけど、取り替えた後のやつは、もちろん処分
のほうに回る。

市
市 回ります。
ですよ。でも、これがどんな状態であったかというのが、中からのカメラじゃなくて、取
り替えたときの。

市
市 そら、写真は残っています。
中からはさびが来ないように、分らないですけども。

利用者の会
市 今言われたように、その辺をしっかりと見といてもらって。こんな状況で、ここはこんな状
況やったというやつをね。

利用者の会
市 あと一個だけ。直接は関係ないですけど、学校やめましたよね。埋めて。ですから、
代替案といいますかね、今、どんな形でごみを回収して、週何回。

市
市 今は週2。
パイプライン地域以外の学校って、普通の回収が行っていますよね。それに合せた
形です。

利用者の会
市 ごみの収集は何にもなくて、何かこうとか。
直接には聞いてないです。ごめんなさい。詳しいことはちょっと。

市
市 丸与やったよね、たしか。
そうですね。

市
市 丸与商店と契約をして。
岩園小学校とか朝日ヶ丘とかは普通に車で回っていますので、そのルートに乗った
形でやる。

利用者の会
市 それは、小学校の費用で用意された。
それはおとしぐらいいかな、教育委員会に行かせてもらって、こんな状況で、もうどうし
ようか。投入口を移動するのであれば、何ぼかかる。校舎をどけてやるのは不可能。パ
イプラインのルート自身を変えようと思ったら、これだけ金かかる。前回の委託費は、今う
ちが見積もり取ったら、週2回でこれだけです。どうしますかと言って、もうやめてもらって
結構ですという意見をいただいたので。

市
市 その代り2か月ぐらいか、それはうちのお金で収集を行ってもらって、その次の年度、4
月からに関しては教育委員会のお金で契約して、普通に週2回ごみ収集してください
と持っていきましたので。
どちらにしても、市のお金ですけど。市の予算配分のことですけども、基本的には、
本当に公共施設も学校も分ければ事業系ごみで、本来であれば事業者としての
努力で経費負担をして、初めて、減らそう、分別しようという意識が出てくる場所で
す。

ごみ収集は従来の歴史で、足元のところこそ、市民の皆さんが頑張っていたのに、まだまだ甘かったところがありますので、当然、直営で市の職員が回っていたから、それで済んでいたのですが、そこも半分の地域は委託業者に回ってもらっている、やっぱり経費のことと、本来のごみの廃棄物の処理を、急にはできませんが、ちょっとずつ整理していく中で、少なくともパイプラインは住民のごみの処理、学校のごみが原因で詰まったりするとほんまに本末転倒になりますので、そこは市としても、そのように段階を踏んで処理させていただいているところです。

利用者の会 ということは、要するにパイプラインで集めるやつは、一般家庭のごみという定義ですよ
ね。現状は。

市 本来はね。

利用者の会 小学校から来るやつは本来事業系だけでも、一般ごみとして集計されていたということ
ですね。今までは。

市 そうですね。

市 パイプラインができたときは、地域内の商業施設ですとか、それこそ、本当に事業者
さんでも入れていたり。

利用者の会 現状でいうと、今から若干、一般ごみが少なくなるということですよ。統計上、事
業系に行くので。

市 整理させてもらって、例えば下水処理場であるとか、南芦屋浜の総合公園である
とか、県立芦屋国際高校。海浜公園プール。喜楽苑は、どっちになるの。

利用者の会 喜楽苑は閉めた。

市 そうですね、喜楽苑。それで浜風小学校。ここを全部、いわゆる事業系という形、あ
と阪急バスか。阪急バスの前のとこ。いろいろ頭下げに行った。

利用者の会 それ、大分前とちゃう。

市 そうですね。一番近いのは浜風小学校です。

利用者の会 いつから止めた、何年も前からでしょう。

市 ほかのはね。

利用者の会 総合公園は前に。

市 大分前です。

利用者の会 順番に止めていっているだけですよね。

市 順番に止めていっています。だから、どんどん減ってくる。パイプラインは減ってくると思
うのです。結局、うちには運ばれてくるのですけど。

利用者の会 そうそう。統計上の数字のそこら辺だけは。

利用者の会 それでは、次の議題。

利用者の会 まだたくさん残っているのですね、この表で見たら。今年度やる件数見たら。これ見た
ら、まだかなり昨年度やる予定の。

市 その辺については、土工事について、平行工事とか併設してやらせてもらったりしてい
ます。

利用者の会 だけど、今年度、これを予定として何件もあるということですね。

市 はい、そうです。

利用者の会 これの入札とかは。

市 土工は入札で、芦屋市のホームページに上げています。

利用者の会
市
利用者の会
利用者の会
利用者の会

そうか、まだ入札終わってないの。

いや、入札は終わっています。

あと、実施だけ。

それでは、次の議題4、代替収集の進捗報告について、まず利用者の会の利用者の会から御説明を、お願いいたします。

この間、ワーキンググループでも説明はさせていただいたのですが、その確認です。ロードマップを見ると、今やっているのが、まず、今年はデータをきちっと取ろうということで、一歩前に行こうと言いまして、そのデータをきちっと取って、それを今後の代替案に生かそうということで、データが約3つございます。

一つが、パイプラインの投入口別のデータを一つ集めていて、若葉町と緑町は集めました。一つ一つ、こういう形でデータを集めて、何が問題なのか、誰がどうフォローするかを、ここに一個一個投入口別に今まとめて、作業やっているところです。

私が、潮見に行こうと思ったらコロナになりまして、それから、なかなかやる気が湧かない。苦勞していたのですが、涼しくなりますので、また今度、潮見町からスタートしようと思っています。

ただ、その中で林さんから提案がありまして、パイプラインのごみだけじゃなくて、それ以外のごみを、今いろんなとこに置いています。それを代替案のとき、どのように処理するのかも一緒に考えないといけないだろう。確かにそのとおりなので、その項目を追加しております。

ですから、その項目で、ほかのごみについて、同じ代替案の中で解決するのか、それともしないのか、そういう問題も絶対あり得るので、そういうデータの中に入れていこうというのが一つです。ですから、この表を追加いたしました。

次に、利用者の会から、今後の代替案に関して、要望とか課題、そういうものはあるのでしようかと今、投げかけて、10ほどの組織から、それを書いてきております。

それをワーキンググループでまとめて、どんな課題とか、どんな要望があるのかを、フィッシュボーンを使って、懐かしい方がおられると思うのですが、私も懐かしいですけど、一応、これですね。

大骨として、代替案、場所の選定、場所をどうするか。それから、ごみステーションはどんな機能を必要とするのか。それから、デザイン。例えば、個人的に非常に興味があるので、環境にマッチしたデザインを入れます。

それから、回収ルール、これも非常に興味がありまして、週、何回回収するのか。どのような方法でとか、非接触型の回収とかも、ぼつぼつ出てきていますので、その辺をどうするのかと。それに伴って、今まではいつでも捨てられたのですが、ベランダにごみを置くのか、どうするのかという問題も考えないと。

当然、ごみステーションになりましたら、それになるのか分らないのですが、それぞれの自治会・管理組合でルールを作ってやらないといけませんので、そのルール、どんなものが要るのか。そういうこと特に考えないかなだろうと。

びっくりしたのは、中層階の人が、高層階のごみが混雑するのではないかとか、いろいろ御心配もあり。その他、いろいろ。

その他の中には、これは入れませんでしたけど、パイプラインを永遠に使いたいとか、気持ちは非常に分るのですが、そういう方も2人ほどおられました。

こういう形で、今年中にこれをきちっとまとめて、来年、これに関して、どんな解決方法をしていくのか、また、皆さんで考えないといけない。

場所は、それぞれの投入口に分散していくの、現場を見ながら、ここに置くとか、置かんとか、そういう話が出てくると思って、これはまだ全部集まっていませんので、こういうふう到一个一個、全ての利用者の皆さんから来ているやつを全部、フィッシュボーンにまとめたのですけども、これを全て書いております。

また、利用者の会が来週ありますけど、出していないところは出してもいい。まだ追加項目がありましたら、お願いいたします。ということを含めて、3月ぐらいまでにはきちっとまとめようと思っております。

3番目のデータ収集。これは市でされると思います。林さん。

市

先ほどの調査表及び基礎データに関しては机上のデータになりますので、実際の投入口ごとのデータで、現在のワーキンググループで御説明させていただきましたが、いつからやるかはまだ決まっております。輸送管の工事とかで止まる投入口が出てきますので、また時期については、皆さんと協議させていただきたいと思っています。

やりたいことに関しましては、実際、投入口ごと、朝の定時運転とかも止めまして、満杯になったら運転するので、1週間ほど地域はあけさせていただきます、投入口ごとの運転、量を調査しようと思っています。

また、現場や、いろんな問い合わせとかもあると思いますが、事前の周知とかはかなり必要になると思っております。前回もワーキンググループで、軽く皆さんに御説明させてもらって、ちょっと書き方とかもいろいろ意見等もありましたので、まだ今のとこまだ案という形で、目標は今年度やりたいですけども、輸送管の工事とかもございまして、皆さんと協議しながら、随時ワーキング、場合によっては協議会、利用者の会とかで御説明させていただいた上で、実施したいと思っております。以上です。

利用者の会

木曜日には利用者の会で、事前に説明して、皆さんに理解を深めて、最終的に御協力をお願いします。

何が問題なんかも、朝の運転が止まったらどうなるのかを説明しながら、理解を深めていきたいと今は考えております。

ロードマップに関しては、ロードマップに毎年更新をするという項目がありますので、この辺のデータをそろえた後に、3月か4月にはそのロードマップの見直しをする作業に入りたいと考えております。以上です。

利用者の会

TMESさんからも、何か御質問ございませんか。

TMES

特にございません。

利用者の会

芦屋市、どうぞ。

市

なしです。

利用者の会

なければ、次の議題5、マナー違反防止対策に関しまして、資料4を山口さんから御説明をお願いします。

利用者の会

資料4を見ていただきたい。

マナー違反が、この年次報告書でも書いていますように、まだまだある。パイプラインの停止は、TMESさんが頑張っておられて、止まることは、ここ1年半起きてないです。工事では止まることは部分的にありますけど、全般的に止まったことは、大雨もなくて、大体2年に一遍大雨で止まりますので、来年あたりはと予想はしていますけど。

ただ、一部においてマナー違反がある。マナー違反で、また警察に頼るようなこととして、解決を考えているのですが、できたら来月ぐらいにワークショップを開いて、利用者の会で。その中で、今度は利用者そのものが自主的に動くためにはそうしたらいいのかという視点でやろうとは思っています。その前に一つだけ、ナッジというのが、非常に日本の政府、自治体も含めて、今はやりというか、これが実施されております。

何かというと、ここに四角で困っている「人を動かす4段階」がありまして、行動経済学がこのバックボーンにはあるのですが、これはいかん、あれはいかん、これしたら駄目というやり方ではなく、ちょっと後ろから背中を押すようなやり方が、非常に今、効果が出てきているのです。

最初の部に便器があります。たしかオランダ、アムステルダムです。

何が問題かと言うと、便器から小のほう飛び散って、掃除が大変だ。何とかしたいと考えて、そこにある人が虫のシールを貼ったのです。そこをめがけておしっこをすると、飛び散らない。ということで、コストとして1億円浮いたのです。単なるシールを一個貼るだけです。今、こっちに変わっています。

その下にある絵はスウェーデンです。健康のために、エスカレーターじゃなくて、階段を上がりましょう。階段を使うときに、ポスターを貼っても、皆、階段は登りませんよね。エスカレーターを使いますよね。

そこで考えたのがナッジのやり方で、白く塗って、黒い鍵盤みたいに黒と白を塗ったのです。踏んだら音が出るようにした。そしたら、何と7割の方が階段を上がるようになったのです。物すごく効果があったのです。だから、健康のために階段を使いましょうじゃなくて、こういう形で背中をぽっと押すような仕掛けをつくっていくのが、非常に考えられています。

その下は、京都府です。京都の四条河原町にあるのです。こういうポスターだけど、ちょっと大きいですが、こっちが見えて、表側、裏側があるのですが、表側に「ドライバーさん、違法停車、みんな見えていますよ」。こういうものを作って、四条河原町は違法駐車、特にタクシーが減ったということで効果が上がりました。

人を動かすためには、一つは正しい情報を提供して、理解・納得させて、動いていただく。だから、そのステップは当然、皆さん、私たち啓蒙ポスターを貼って、今回、これを作りましたので、こういうのを実際に見ていただいて、これだったら、やっぱり大事に使わないかなという行動をしていただく。

3番目に、御褒美とか罰を与える。そういうやり方。これをしたら、こんなメリットがありました。お金が浮きます。そんなので動かす。

最後には、強制的に刑事罰おこなう。

2番目に出てきたのが、つつい行動したくなるような背中を押す仕組みをつくって、こうということで、一番下の図、今、ダイエーにあります。皆さん御存じですか。ダイエーのレジに、足の二つがぼんぼんぼんとある。何でか、三密しましょう、距離を2メートルとりましょうと言っても皆、守らない。足が複数あると、何にも言わなくても、そこに皆立っている。これ、ナッジです。

ですから、非常に今、自治体でも興味があって、例えば健康診断を受けましょうと言うのではなく、健康診断を受けるような、何かそういうものを考える。

例えばごみ収集で、今、うまいなと思ったところがあるのです。袋に入れない。指定袋に

市
利用者の会

入れないごみに貼るのですよ。このまま行くと、隣の市みたいに、有料化、ごみがされま
すよと、ポスターを貼るのですよ。

隣の市の許可を取っているのですかね。

おもしろいなど、そういうナッジもあります。

その裏、私が考えたのです。テストで、うちの投入口が2つあるのですけども、それに、
取りあえずこれを貼っていいかなと思ひまして、皆さん、いかがでしょうかという判断です
けども。

今、実は投入口のあそこの下に、うちの場合、特殊なポスターを貼っています。それ
は、私が以前作ったのですけど、理事長がいまして、上から重たそうな物を抱えてい
て、この投入口が詰まると20万円かかります。本当は上に貼っていたのですけど、誰か
が下に持って行って、今それを貼っているのです。それに変わって、これを貼って「利用者
の皆さん、マナー違反のごみ投棄、みんな見えていますよ」と、京都にまねしたようなやつ
で、ちょっと試そうかな。

本当は全部、ナッジの場合は、京都の場合はNTTがバックにいまして、NTTが全部
効果をはかっとなります、計測しています。

私はそういうことまではやっていけませんので、取りあえずこれで、私の若葉町がどれだ
け効果があるかやってみようかなと、今思っています。

ですから、今までみたいに、これはしたらいかん、あれはしたらいかんと言うんじゃなく
て、ナッジを使って、無意識にそっちに行くようなことでやろうかなと。

これを逆手にとった広告もあります。それをスラッジと言います。

「あと3日で、このキャンペーンは終わります」「3つまでは買えます」とか、わざとそういう
ものを、何となく見つかせるとか。そういう悪いやつらもいるのですけども、今、世界中で
ナッジを作って、人間の行動を少し変えられればということで御紹介させていただいて、
こういうことをやりたいなどと世に示す。取りあえずやってみて、どうなのかと、また報告させ
てもらいたいと思います。以上でございます。

利用者の会
利用者の会

どうぞ。

山口さん、非常にいい案やと思うのですけどね。これね、林さんとか荒木君とか若い
子に、ほんまはもっと下やったらええんやけど、この案を考えてもらいたい。どうしても山
口さんとか年寄り頭硬いわけやから、もっと軟らかい人に案を、芦屋市ちょっと頑張っ
て、若い子に、入って1、2年の、市役所の中から考えてと言って。10個ぐらい案持って
きたら、ええ案、1つか2つ出てくるかもしれせん。

市
利用者の会
利用者の会

多分、僕らがやったでは思いつかない。

いやいや、尾川さんはちょっと我々のほうで、もうちょっと若いとこへ行きたい。

この目を変えたらええねん。林さんの怒った目だけを取り上げて、ここにぱっと。スウェ
ーデンの女の子やった？あれ言うてたの。俺らの将来をと。

市

こういった形、前にも出させてもらっているのですけども、私たちも啓発はやらせてもら
って、市民の方自身もこういった御意見いただいて、すごくありがたいと思っております。
僕、今も若手と言われてうれしいのですけども、僕からも何か提案。

利用者の会
市
市

お願いします。

いや、いいナッジができるか分かりませんけども。

本当にありがとうございます。次も、先ほども話題になった指定ごみ袋に。それは0.

何円か経費が上がるかも知れませんが、デザインをちょっと入れて、やっぱり愛着を持って使ってもらいやすいようにとか、これ使おうかとか。同じような柄が並んだら、ごみステーションもきれいなよねとかという仕掛けですとか。本当に外国人の方とか、子供さん、お年寄りの方の字で「ブワッ」と書くのではなくて、何か行動に移しやすいように、このアイデアは、はやりも越えて、今すごく注目されているところやと思いますので、ありがとうございます。やってみたいですね。

市
市
利用者の会

そうですね。

ありがとうございました。

すばらしい御提案とか、お待ちしております。本日、最後の議題6、本日リユースフェスタ(見学会)を開催しておられます。手短に、林さんから御説明をお願いいたします。

市

ごみ処理場に持ってきた、粗大ごみにあたるのですが、粗大ごみ、実際、家具とか自転車を修理しまして、3Rの活動の一つですが、それを市民の皆様に、家具は無償、自転車に関しては防犯登録の関係、あと鍵の関係で、二、三千円お金いただいているんですけども、今、活動、木・金・土の見学会やっています。今日行って、何かもらえるわけではないですけども、今月までに往復はがきで応募していただいたら、もしかすると、家具、自転車等もいただけるかもしれませんので、何人か多分来られた方がいらっしやると思うんですけど、まあまあいい家具、自転車がございます。

自転車に関しましては、部品取り等をして、そこら辺にある自転車じゃなくて、多分、世界でも一つしかない自転車になっておりますので、よろしく願います。

市
市
市

今日の12時までなので。

あっちに藪田もいますので、藪田さんのほうでよければ、あっちに行ってください。

12時までと1時から3時、ちょうど今終わって、すぐ行けば見られるような形になります。

利用者の会
市

藪田さんが、やっているの。

藪田さんが今日、向こうにいますので、こっちにいない感じです。藪田さんの顔をリユースフェスタに行きたい方は向こうへ行っていただいたら、います。

利用者の会

それでは、今後のスケジュールで、次回のスケジュールは、今年も押し迫ってまいりましたけれど、12月17日の土曜日、皆さん、御都合はいかがでしょうか。

先の話ですが、17日の土曜日。場所と時間は10時で、場所はこちらでよろしく願います。

それでは、本日の第40回ごみパイプライン協議会を、これにて終了させていただきたいと思っております。皆さん、どうもありがとうございました。